



第7回「アスナビ」意識調査〈選手編〉 『企業勤務で応援してくれる人(人脈)が増え、競技にも好影響を与える』

JOCキャリアアカデミー事業では、2024年4月1日時点のアスナビ採用実績が227社394名となりました。前年度に引き続き、採用企業と選手のWin-Winの関係を更に構築していくことを目的とし、アスナビ就職選手・採用企業を対象に、第7回「アスナビ」意識調査2023を実施いたしました。今回、本アンケートの集計結果がまとまりましたので、ここに報告させていただきます。

■ アスナビでの入社満足度

アスナビによる入社に対して90%以上が満足と回答

▶アスナビで入社したことによる全体的な満足度について、「満足」と回答した者は75%で、「やや満足」と合計すると、93%が満足と回答した。

■ 仕事に対するやりがい

「仕事のやりがい」を感じている割合は過去最高値

▶現在の競技以外の仕事におけるやりがいについて、選手は「とてもそう思う」が45%で、「ややそう思う」を合わせると、9割がやりがいを感じており、調査開始以来、最高値となった。

■ 入社による状況の変化

競技面だけでなく、ビジネス面の成長意欲も高まってきている

▶「とてもそう思う」の割合が大きいのは、「十分な練習ができています」「応援してくれる人が増えた」。
▶企業の社員との良好な関係が、「入社前以上の質の高い練習ができています」「競技力がアップした」といった競技面の数値も高く、相乗効果があることを実感していると考えられる。

■ ビジネスに対する意欲

アスナビ就職社員のビジネスに対する意欲は年々高まってきている

▶企業に勤めていることにより、「社会人としての成長」を実感している。
▶競技に差し支えない範囲ではあるが、多様な業務やハイレベルな業務に対する意欲は、年々上昇してきている。

■ 競技引退後の職業

現在の勤務先での継続勤務意向が高い

▶引退後の職業について、「現在の勤務先にそのまま残る」は9割弱と突出して高い。

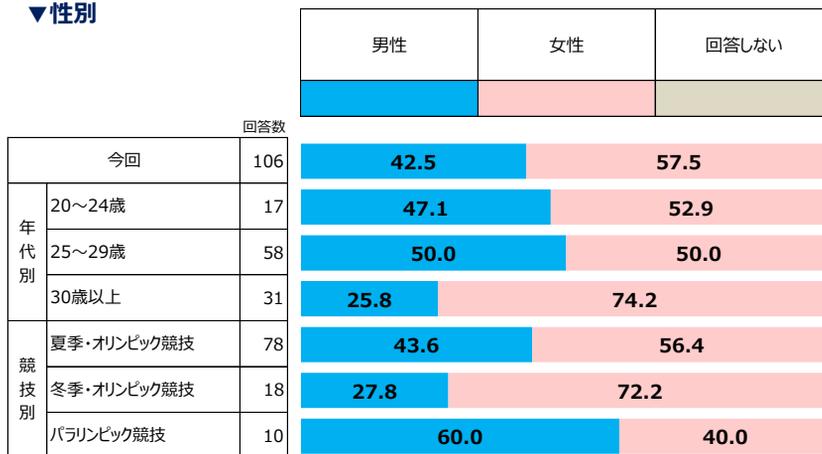
■ 調査に関するお問い合わせ先
JOC キャリアアカデミー事業 アスナビ調査担当
TEL : 03-5963-0354 E-mail : career@joc.or.jp

【調査概要】

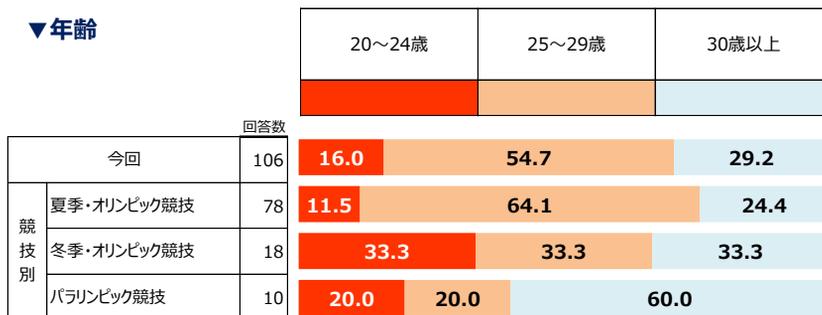
1. 調査目的 アスナビ就職選手と採用企業の実態を明らかにし、選手と企業間でコミュニケーションを図るよう支援をする。
2. 調査期間 2023年12月18日～2024年2月9日
3. 調査対象 アスナビを通じて就職をした選手256名
※但し、2023年12月末日時点で既に退職している者、または内定（入社前）者は含まない。
4. 調査方法 【送付】アスナビを通じてアスリート社員の採用を行った企業担当者あてにメール送信
→担当者から所属選手にメール送信
【回収】Webからの回答
5. 主な調査項目 ①アスナビ就職選手の入社前について
②アスナビ就職選手の入社後について
③アスナビ就職選手の引退後について
6. 集計者数 106名（回収率：41.4%）※現役選手83名、引退選手23名

【回答者プロフィール】

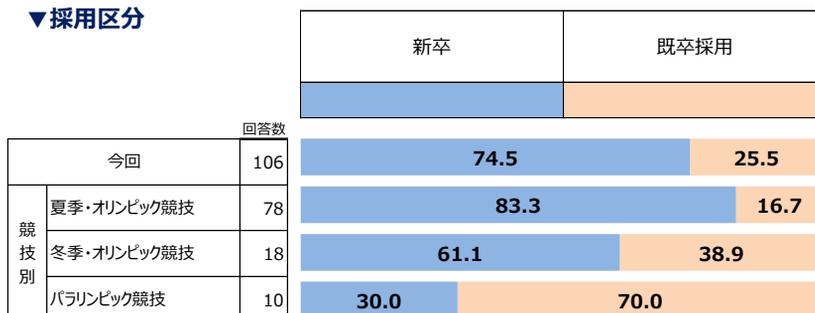
▼性別



▼年齢



▼採用区分

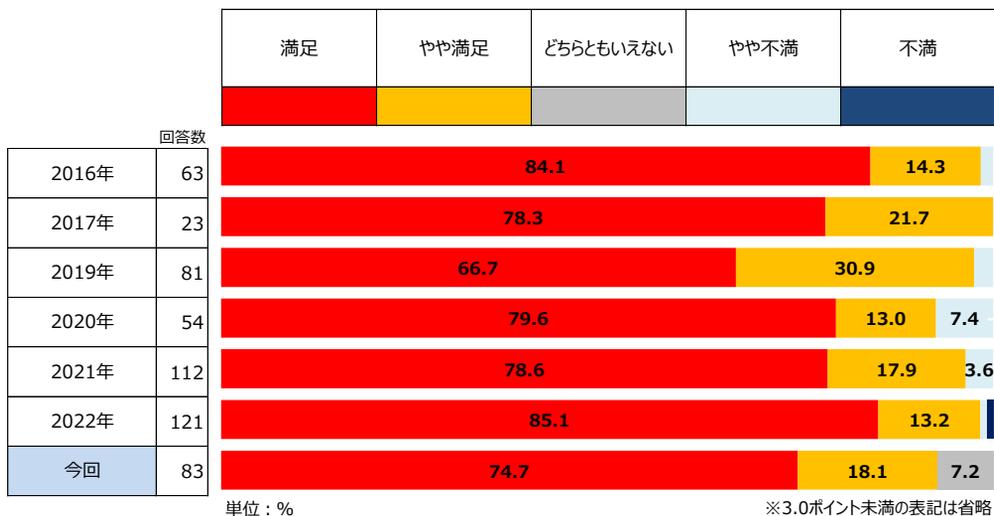


図表内の数値の単位はすべて%（次頁以降も同じ）

1. 入社満足度

アスナビで入社したことによる全体的な満足度について、「満足」と回答した者75%で、「やや満足」と合計すると、満足度は93%に達する。

■ アスナビでの入社満足度：時系列推移 注：今回より「どちらともいえない」を追加し、5段階評価とした。

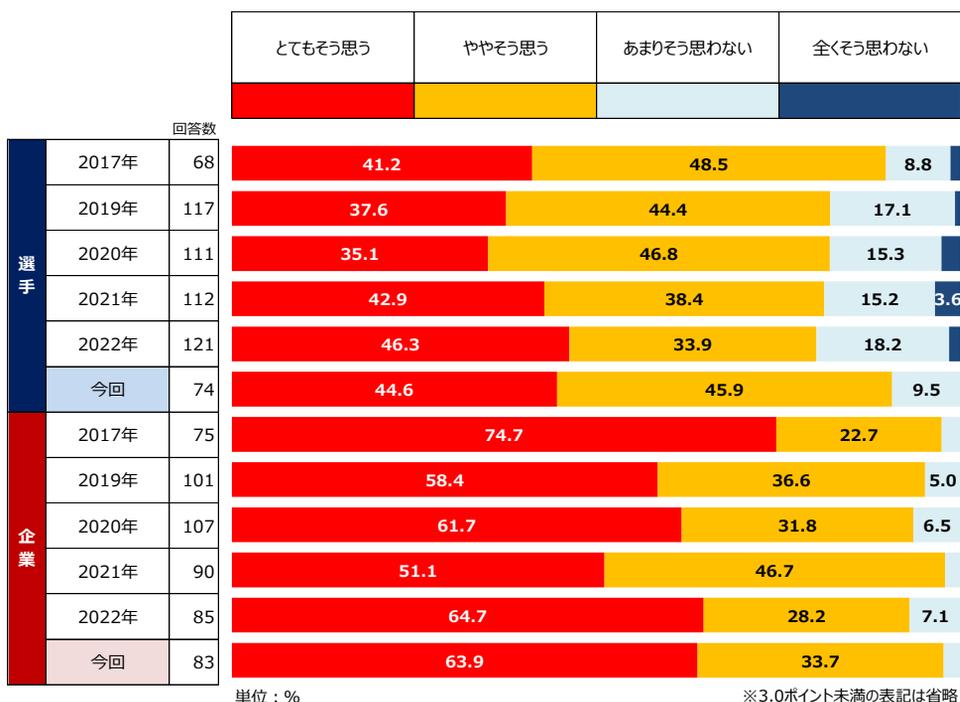


2. 仕事に対するやりがい ～競技と仕事の両立について～

現在の競技以外の仕事におけるやりがいについて、選手は「とてもそう思う」が45%で、「ややそう思う」を合わせると9割に達している。

企業の回答は、アスリート社員のやりがいを、より強く評価する傾向にあり、「とてもそう思う」が64%となっており、この傾向は調査開始以来変わっていない。

■ 仕事に対するやりがいが感じられるか：時系列推移

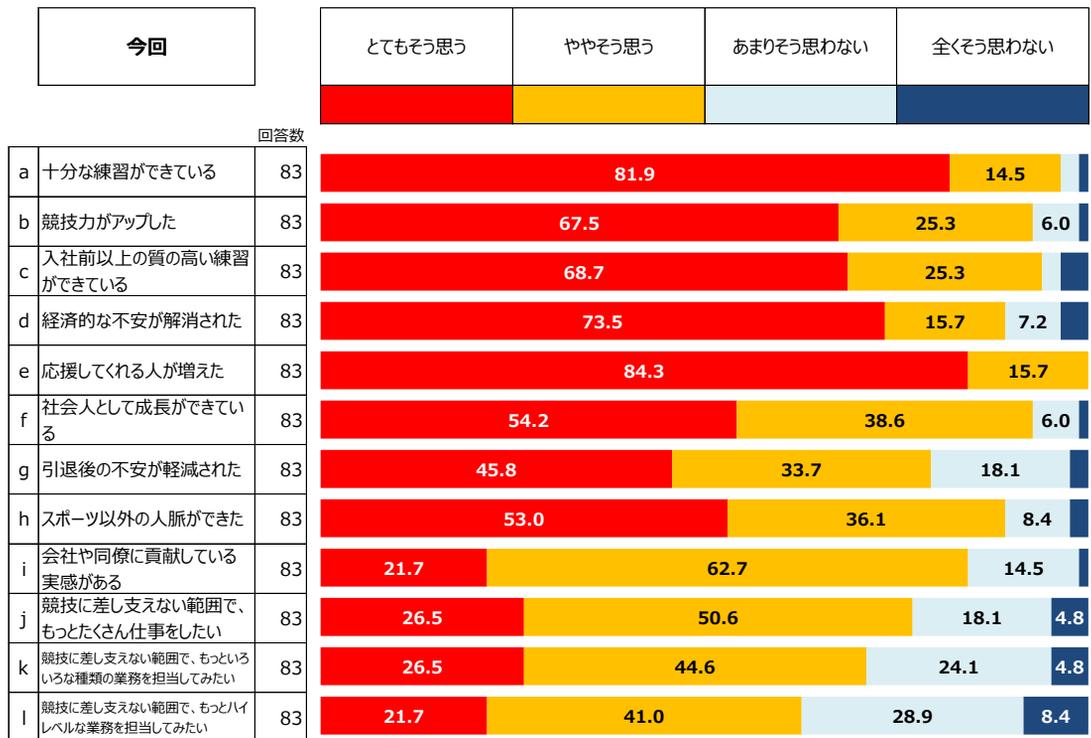


3. 入社による状況変化 ～入社し、良かったことについて～

「とてもそう思う」の割合が大きいのは、「十分な練習ができています」「応援してくれる人が増えた」であり、8割を超えている。また、「入社前以上の質の高い練習ができています」「競技力がアップした」も「とてもそう思う」の割合が7割近くに達している。

一方、仕事面では、「スポーツ以外の人脈ができた」「社会人として成長ができています」をあげた者が5割以上いるが、「競技に差し支えない範囲で」という注釈付きではあるが、仕事量、多様な業務、ハイレベルな業務への意欲を持っている者は半数以上いる。

■入社してからの状況／全般



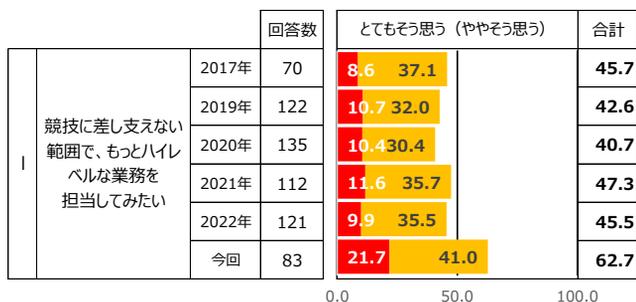
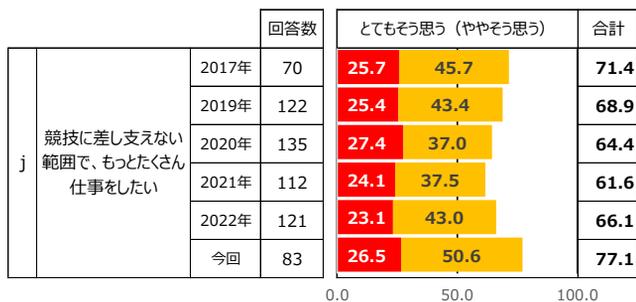
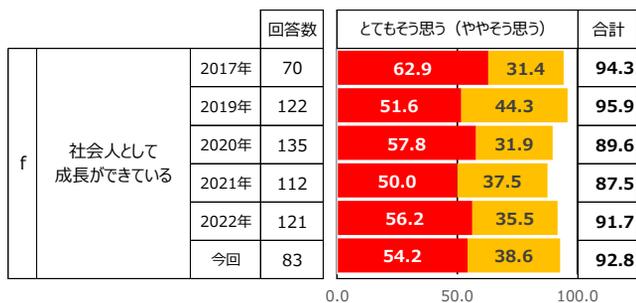
※3.0ポイント未満の表記は省略

4. ビジネスに対する意欲

前項の設問のうち、ビジネス面に関する5つの項目の時系列分析である。「社会人として成長ができている」は、数値が安定しているが、「会社や同僚に貢献している実感がある」について、「そう思う」まで含めた合計値は、コロナ禍による応援機会の減少等により落ち込んでいたが、年々上昇してきている。

また、「たくさん仕事」「いろいろな種類の業務」「ハイレベルな業務」に対する意欲も、競技に差し支えない範囲ではあるが、過去最高の数値を記録している。現役アスナビ就職社員のビジネスに対する意欲は、仕事に対するやりがいを含め、高いレベルになってきていると考えられる。

■ 入社してからの状況／ビジネス面

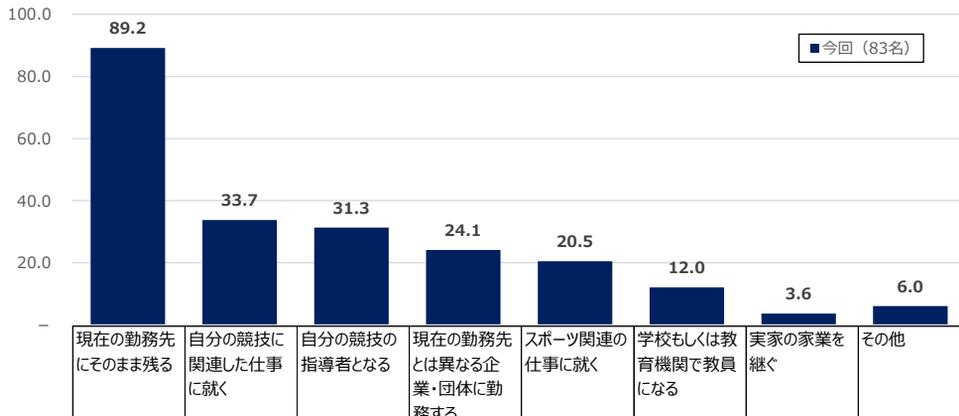


※「合計」は「とてもそう思う」と「ややそう思う」の合計値。

5. 競技引退後の職業

競技引退後の職業については、「現在の勤務先にそのまま残る」と考えている者が9割近くいる。現役アスナビ就職社員の現在働く企業に対する帰属意識は高いと考える。

■ 競技引退後の職業



今後に向けて

1. 本調査を通じて見てきたアスナビで採用された選手の意識や課題を採用企業と共有する中で、今後より一層の競技と仕事の環境整備につなげ、企業とアスリートとのWin-Winの関係を強くしていきたいと考えます。
2. 上記を実現するため、今年度もアスナビ採用選手研修会や企業情報交換会を開催し、社会人としての基本的なスキルの提供や選手間どうしの交流、また採用企業間のナレッジ共有や交流を進めて参ります。